

★ 提案 2 の賛成意見 ★

納税者と学校を守る非常時資金を創設するために、提案 2 に賛成票を投じてください。

提案 2 は、州憲法に強力な非常時資金を設定し、好景気のときに議会と州知事に資金を積み立てさせ、負債を返済し、深刻な予算削減から学校を保護します。民主党員と共和党員の両方が提案 2 を支持しています。

州に資金を積み立てさせることで、提案 2 は政治家に収入内でやりくりすることを義務付け、不要な増税から保護します。好景気の間は、資金は憲法によって保護される予備資金に入金され、負債の返済に使用されます。不景気になると、非常時資金は学校、公共安全、その他の重要なサービスを保護するために使用されます。

California 州には、州政府に収入額を超えて支出させないようにする提案 2 が必要です。わずか 3 年前、California 州は 260 億ドルの財政赤字に直面し、議会は苦しい予算削減を、また投票者は一時的な増税の承認を強いられました。提案 2 は、私たちがこの好況と不況の予算編成サイクルを繰り返さないようにします。

提案 2 に賛成票を投じると：

- ・一時的な歳入を蓄えておき、支払い不可能な継続的な支出に割り当てられないようにして、州予算の安定化を図ります。
- ・州の負債の返済を加速します。
- ・将来の学校予算削減を防ぐため、教育予備資金を創設します。

信用格付け機関と新聞各社は、強力な非常時資金を支持しています。

SAN FRANCISCO CHRONICLE 誌：非常時資金は「賢明な行動」である。

STANDARD AND POOR'S 社：非常時資金は、「より持続可能な財政構造に向けた California 州による継続的な努力のさらなる一歩である。」

LOS ANGELES TIMES 誌：非常時資金は「Sacramento 州政府内の貯蓄文化をさらに促進する。」

MOODY'S 社：非常時資金は、州が「財政に及ぼす景気停滞の影響を和らげる」ために役立つ。

FRESNO BEE 誌：非常時資金は「破局的な財政赤字から納税者を保護する。」

SACRAMENTO BEE 誌：非常時資金は「財政規律に向けた重要なステップである。」

提案 2 に賛成票を投じて CALIFORNIA 州の均衡予算を保護してください。

www.CaliforniaRainyDayFund.com

John A. Pérez、名誉退職州下院議長

Edmund G. Brown Jr.、州知事

Allan Zaremberg、会長

California 商工会議所

★ 提案 2 の賛成意見に対する反論 ★

私たちの学校を救ってください！

提案 2 に反対票を投じて、学校と納税者を保護してください。民主党員と共和党員の両方が提案 2 に反対しています。父母、祖父母、そして学生が提案 2 に反対しています。

なぜでしょう？危険な財政的時限爆弾が、予算交渉の土壇場に挿入されました。それによって何が起ころうでしょうか？提案 2 の「学校非常時資金」に 1 セントでも入金されると、地方教育区は最大で数週間の費用分しか資金を積み立てることができなくなります。

教育区が何を積み立てられるかを Sacramento 州政府が決定することがなぜ問題となるのでしょうか？過去 7 年間、Sacramento 政府は学校に対する何十億ドルもの支払いを毎年学年度末まで遅らせてきました。この資金は教師や職員、学用品の支払いに必要な資金です。地方で管理できる予備資金がなくては、教育区はさらに高い借り入れ費用とさらに大幅な削減に直面します。Sacramento 州政府に依存することは、学校にとっては損失の大きい提案です。

www.2BadForKids.org をご覧になり、政治家ではなく、保護者から事実を学んでください。

Standard and Poor's 社は、この提案が通過した場合、California の学校にとって「中立からネガティブの信用格

付けの意味合いがある」(7/7/2014) としています。純粋な非常時資金は誰もが支援するものです。しかし、詐欺と化した提案 2 を支持するかどうか、新聞各社や信用格付け機関に尋ねてください。

Sacramento 州政府には、美辞麗句だけで公共教育を優先した実績がありません。

California は、生徒向けの支出では全米で 50 位です (Education Week、2014 年 1 月)。

何が子供たちに最善かを知っているのは、Sacramento 州政府ではなく、地元コミュニティです。意見を述べてください。提案 2 に反対票を投じることは、子供たち、学校、そして常識に票を投じることです。

提案 2 に反対票を投じてください！

Cushon Bell、書記

Educate Our State

Cinnamon O'Neill、支部ディレクター

Educate Our State

Kilty Belt-Vahle、保護者ボランティア

Educate Our State

★ 提案 2 の反対意見 ★

いわゆる「雨が降ったときの（万が一のときの）」非常時資金に、なぜ California の児童をずぶ濡れにさせるのでしょうか？

California は公立学校向け州資金では毎年最下位十州に入るのに、なぜ税率では全米で最も高い州のひとつとされているのか、保護者と納税者は疑問を抱いています。提案 2 は、児童たちを最後回して「保護」を続けていることの良い例です。

California 州民は、二十五年前に最低限の学校向け州資金を保証するため提案 98 を制定しました。この「保証」は、2004 年に年間 50 億ドル以上の地方の学校に割り当てられていた安定した信頼性の高い資産税を州政治家がわざわざかみにし始め、自分たちの赤字と財務決定ミスを埋める資金とする口実となりました。州はこの資金を取り上げた上で、提案 98 がそれを返済すると約束したのです。

当然のことながら、この California の児童たちへの憲法上の保証は確実に守られていません。不景気が続いた近年、California の学校は最高 100 億ドルの基本的な資金延べ払いに直面し、借入金を強いられ、独自の地方予備資金に手をつけて、プログラムの削減を余儀なくされました。

そして今回、提案 2 によって、California の学校は好景気の年も資金を待たされることになるのでしょうか？憲法が保障する最低限の歳入でさえも地方の学校役員会に任せられないのであれば、「地方管理の資金供給手段」にはどのような意味があるのでしょうか？

一方で、細かいただし書きによって、一般財源の日々のキャッシュフローを管理するために州出納長がこれらの積み立てられた教育資金を使用できるようにし、予算緊急事態を宣言することで議会がこの資金を一般財源に移すことができるようにしています。

しかし、待ってください。問題はこのほかにもあります。

本年度の予算交渉が終わりに近づいた時期に、提案 2 の公立学校システム安定化勘定に何らかの入金が行われた場合は教育区に地方予備金を減らすことを強要する要件が追加されました。その翌年度には、教育区は最低予備資金額の二倍までしか維持することが許可されません。ほとんどの教育区にとって、これは年間運営費用のわずか 6%、つまりたった 3 週間分の支出分しか予備資金を維持できないことを意味します！

California 中の教育区にとって、これまで州によって強要された借入れ費用やプログラム削減から子供たちを守ってきたのは地方予備資金だけです。(州は過去七年間、学校に期日通りの支払いを行っていません。2012 年には未支払資金の最大 20% が 6 月の学年度末以降に支払われました。) キャピタルゲイン税収が一年度だけ高くても、教育資金が学校向け資金から取り上げられ、州が管理する安定化勘定に入金されることから、何十年にもわたって構築されたこれらの予備資金が放出されることになります。

何万人もの California 州民を団結させる超党派的な全州規模の、保護者が指導する市民レベルのボランティア非営利組織と共に、子供たちを後回しにし続ける政治家たちに反対してください。 www.2BadForKids.org をご覧になり、提案 2 に反対票を投じてください！

Katherine Welch、ディレクター

Educate Our State

Hope Salzer、支部ディレクター

Educate Our State

Jennifer Bestor、研究ディレクター

Educate Our State

★ 提案 2 の反対意見に対する反論 ★

提案 2 の対抗者は間違っています。それこそ、260 億ドルの予算赤字、私たちの学校の深刻な予算削減につながった考え方に他なりません。

現在の州予算は、100 億ドル以上の新たな資金を学校に提供する過去最善のものです。提案 2 は、州の予算を安定化し、将来の教育予算の削減を回避して学校を保護します。強力な非常時資金と継続的な財政の引き締めがなければ、州は将来赤字に直面して、学校、公共安全、その他の重要なサービス向け資金の削減を強いられることになります。民主党員と共和党員の全員が、提案 2 を支持する票を投じている理由はここにあります。

提案 2 は、提案 98 に義務付けられている資金レベルを変更しません。事実、今年度の予算は、提案 98 に基づいて過去最高レベルである 609 億ドルの資金を学校に提供します。これは、California が巨額の予算赤字に直面した三年前と比べ各学生につき 1,954 ドルも多い金額です。好景気の時期に一部の資金を蓄えておくことにより、California は将来の学校予算削減と不要な増税に歯止めをかけることができます。

提案 2 に賛成票を投じて CALIFORNIA の均衡予算を保護してください！

Dr. Michael Kirst、会長

California 州教育役員会